大会報告

関西の伝統～カップは東へ

愛場庸雅

第 29 回ウェスタカップリレーオリエンテーリング大会　平成 24 年 12 月 16 日　大阪府枚方市

関西の伝統～ウェスタンカップ

ウェスタンカップとは、関西・西日本のクラブや府県協会などが持ち回りで開催しているリレーオリエンテーリング大会です。第１回大会は今から 30 年前の 1983 年 2 月 27 日。兵庫県三田市で、ＯＬＰ兵庫の芝昌弘氏（故人）の発案のもとに開かれました。その後歴史を重ね、今や関西のオリエンティアにとっては欠かすことのできない伝統行事となっています。（プログラムの開催地一覧参照）　年を重ねるごとにカップ対象のクラスは増え、その時々の状況に応じてカップを作ってきたので、写真のように不揃いなのですが、これはまた、「みんなで作っている手作りの大会」の象徴でもあります。私事で恐縮ですが、私は第１回から参加しており（優勝メンバーのひとり！）、運営にも過去４回（第４回白滝、第 14 回菟田野、第 19 回くろんど池、今回）かかわっていますので、思い入れのある大会です。

第１回大会全コントロール図

不ぞろいのカップたち

ニューテレイン～山田池公園

テレインの山田池公園は、２０年前に枚方市の社会福祉協議会から依頼されて、おとしよりのためのイベントを開いたことがありました。当時は今回のテレインの北半分しかオープンしておらず、手書きの一色刷りの地図を作りました。その後南半分の整備が進み、今回のような絶好のビジュアルゾーンのある、スプリントやリレー向きのテレインが出現しました。ずっと、いつかここの地図を作りたいと思っていたのですが、大阪ＯＬＣさんから話があり、ＯＬＣレオと共同での地図作成、大会運営となりました。

公園OLの障壁

しかしその前に立ち塞がったのは、公園ＯＬならではの問題でした。公園事務所は、他の公園利用者との事故を最も心配されており、アクシデントには主催者として責任を持って対処する体制を作るように指導されました。また、公園利用者の多い花の時期には開催はできない、つまり利用できるのは７～8 月か 12～１月に限定されてしまいました。さらに、最も困ったのは、南北のエリアをつなぐ大きな橋（美月橋）を「走って渡らせてはいけない」とされたことでした。テレインを分断している道路は交通量が多く、立体交差で渡れるのは西端の橋だけになってしまい、窮屈なコース設定を余儀なくされました。

また、新たに整備されたエリアには、あとから出現した大きな特徴物（道や建物）の正確な原図がないという問題もありました。仕方なくグーグルやヤフーの地図を活用し、道などを書き込んでいったのですが、それにすら情報がないエリアもあり、苦労しました。一方で、空中写真から植生界や独立樹の位置、川の幅や流れなどが正確にプロットできることもわかり、公園の調査ではスマートホンを持ってゆくと、ＧＰＳを使わなくても、楽に正確な地図ができることもわかりました。

広大なスペクテーターズエリア

幸い、会場のすぐそばに広い展望デッキがありますので、それだけでもリレーの醍醐味のひとつである観戦を充分楽しんでいただけるのですが。「橋が渡れない」ことを逆に利用して、ここも観戦ゾーンにしてしまいました。（事前に知られるとコースが読まれそうだったので、当日まで伏せておきましたが）　オリエンテーリング競技を「上から」観戦するのは、なかなかできない体験です。

観戦ゾーン美月橋からの風景
芝生の丘、展望デッキを望む

コースプランナーからの挑戦

公園Ｏですから、コントロール位置の難度はあまり高くはできません。そこで、技術的な課題としては、ルートチョイスを重視しました。複雑な園路とほどよいアップダウンを利用して、アップダウンか迂回か？　走りにくい部分をどう避けるか？　といった課題をより多く提供するようにしました。ミスをしてもリロケートは難しくないので、小さなミスが勝負を分けることになります。展開はスピーディになり、緊張感のあるリレーが楽しめたのではないでしょうか。

ウェスタンカップは東へ

長崎の全日本ミドル会場で大会受付をしていて、関西人としては内心「まずい」と思ってしまいました、MAクラスに、あのトータスが強力なチームを組んでエントリーしてきたのです。かつて「ウェスタン」カップがルーパーの手に渡り、関ヶ原を越えてしまったのですが、今度は箱根を越えてしまうかもしれない・・・。そしてそれは現実となり、トータスは２位の朱雀に２分半の差をつけて優勝しました。もっとも、「トータスは山梨県に拠点を置いているので箱根は越えていませんよ・・」という話しもあるのですが・・。

まあそれもまたよし。いつか、「ウェスタンカップ」という名の全国規模の大会を、日本じゅうのみんなで切磋琢磨して楽しめる日が来ることを期待したいものです。来年度は関西学連の主催です。

（大阪府オリエンテーリング協会：
愛場庸雅）

山田池の浮御堂

MAコース(パターン ay の一部を拡大)
- 1 番はいきなり円形の丘の向こう。どんなルートで攻めるか？　直進ならぬ曲進は方向を狂わされやすい。
- 7-8、12-13-14-15 とベストルートの発見が難しいレッグが続く。